

## 1 教育目標

### (1) 本校の教育目標

自主的な態度に満ち、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな国民として、未来を創造する、たくましい子の育成を目指す。

- 「強く」…健康で安全に気をつけ、ねばり強く、がんばり抜く子
- 「やさしく」…責任感をもち、礼節をわきまえ、思いやりに満ちた心豊かな子
- 「進んで学ぶ」…向上心にもえ、よく考え、自ら進んで学びとる子

### (2) 経営方針

ア 生きる力を構成する「自らを律しつつ、他人と共に協調し、他人を思いやる心や感動する心」「主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質・能力」「たくましく生きるための健康・体力」を育む。

イ 全職員が教育者としての使命と責任を自覚し、資質の向上に努めるとともに、それぞれの持ち味や創意を生かして学校経営に参画し、魅力と活力に満ちた特色ある学校づくりに努める。

ウ 家庭・地域・学校の連携を深め、持続可能な協働体制を構築し、安心・安全で保護者・地域から信頼される開かれた学校づくりを進める。

### (3) 本年度の重点努力目標

ア 本年度の大里東小学校の目指す児童像

☆『自他を大切にする子』 ☆『互いのよさを認め合う子』 ☆『考え行動する子』

#### イ 目指す児童像にせまる指導の手立て

##### ☆『自他を大切にする子』

(ア) 自己指導能力を高めるために、学校生活の約束を守って行動できる児童の育成に努める。その際、学校生活の約束の意義や必要性を知り、よりよい行動につながるように主体的に考えさせる。

(イ) 自他を思いやる力を育むために、プラス言葉とマイナス言葉を意識するための手だてを継続していく。さらに、人だけでなく、物を大切にできる意識も高める。また、自己をみつめ、物事を多面的・多角的に考えるとともに、自己の生き方についての考えを深めたり、自他を思いやる力を育んだりするような道徳科の時間を展開する。

(ロ) 基本的な生活習慣を確立していく。特に、挨拶と掃除を大切にする。友達や地域の方にも自ら挨拶をすること、汚れている場所を自分で見つけて掃除をすることを通して、自主性と主体性を育んでいく。

(エ) 集団生活における諸問題に対しては、好ましい人間関係の構築を支援することで未然防止に努めるとともに、児童の気持ちに寄り添った丁寧な対応を心がける。

##### ☆『互いのよさを認め合う子』

(ア) 児童と教師、児童相互間の温かな心の交流を醸成し、自他の命の尊厳について考えを深めたり、「生きるよろこび」を体感したりできるような豊かな学びの実現に努める。

(カ) 児童相互に人格・個性を認め合ったり、高め合ったりできるような活動、具体的には「運動会における全校種目や応援合戦、低・中・高学年合同活動」や「いいところ見つけ」、「異学年交流」等を通して、よりよい「人間関係形成」を図る。

(キ) 児童が自らの特性を發揮し、集団に貢献できる場を積極的に設定し、自己肯定感や自己有用感が実感できるような自主的・実践的で協働的な集団活動を展開する。

(ク) 学級での係活動や当番活動、学校全体での児童会活動・委員会活動や行事において、協力して進めることや自ら考えて課題を解決することができるように、自分たちでよりよい学校生活にしていく活動や場面を設定し、支援していく。そして、その中で育んだ力で、家庭や地域に貢献しようとする意欲も高めていく。

##### ☆『考え行動する子』

(ケ) 導入を工夫しつつ、学習内容を充実させ、まとめや振り返りを大切にしていく。学習内容や活動をどのように進めるかを明確にし、話し合い活動や振り返り活動の時間を中心に様々な場面でアウトプットする場面を設定する。そうすることにより、全ての児童の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善につなげていく。

(コ) 地域の協力も得ながら、体験的・問題解決的な学習を積極的に取り入れ、「思考」「判断」「表現」する活動の充実を図ることにより、深い学びの実現を図る。

(サ) 各教科の指導においては、①学習意欲が高まる導入の工夫【粘り強く取り組む力】、②目的や手段などの視点を明確にした話し合い活動【対話する力】、③話し合い活動を踏まえての課題解決学習や振り返り活動【自ら課題を見つけ解決する力】を取り入れた授業展開を図る。

(シ) 「自分の命は自分で守る」ための確かな知識を習得させ、不測の事態に迅速かつ的確に判断し行動できる能力や態度の育成に努める。そして、その中で培われた能力を基にして、全ての活動において、考え、判断し、行動できる児童の育成につなげていく。

#### ウ その他

(ア) 教職員一人一人の心身の充実が教育活動の充実に直結することを自覚し、よりよいワーク・ライフ・バランスが確立されるよう指導環境の整備に努める。

(イ) 働き方改革の実現に向けて、専門スタッフや地域人材等を効果的に活用し、業務改善を図る。